

ハンディキャップ委員会 議事録

2017年 8月 30日 開催

開催	東和観光株式会社 鷲ヶ岳高原ゴルフ倶楽部 17:00より
出席者	議長 委員長 土田 博一 委員 嶋津 島仁・辻本 徹・中島 和俊・井上 信夫・荒井 吉夫・奥村 信行 事務局 河合 伸康・杉山 功実
審議事項	ハンディキャップ委員会内規について インデックスハンディについて 今後の運営について その他
事務局の挨拶及び委員紹介の後、議事に入る	
<p>議題1 ハンディキャップ委員会内規について</p> <p>議事2 インデックスハンディについて</p> <p>内規を決める中で、当倶楽部でのハンディキャップの在り方を決める必要があると委員長から提言された。今後、倶楽部ハンディをインデックスハンディキャップとするか今まで通りクラブハンディキャップとするか。</p> <p>○JGAはインデックスハンディキャップ推奨されている</p> <p>委員の意見を求める</p> <p>○全員のハンディキャップをインデックスに変更するには大変な作業ではないか？</p> <p>○現状で岐阜県のゴルフ場はどれ程の使用倶楽部があるのか？</p> <p style="padding-left: 2em;">明世カントリー・むらさき野カントリー・セントフィールド・さくらカントリー等であり、まだ岐阜県ではそれ程広がっていない。</p> <p>○インデックスハンディキャップの必要性は？</p> <p style="padding-left: 2em;">競技を行う上で、使用ティのスロープレーティングにより、ハンディキャップが決まる為、公平な競技を行うことが出来る。</p> <p>○インデックスハンディキャップを取得する為には？</p> <p style="padding-left: 2em;">来場頂いたスコア及び、スロープレーティングを取得しているコースでのプレースコアを提出して頂きインデックスハンディキャップを取得する。</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局にて取得作業を行う。但し、プレーティを必ず記載して頂く必要がある。</p> <p>○現在の会員でスコア提出を呼びかけて出してもらえるのかどうか？</p> <p style="padding-left: 2em;">現在取得している方が、インデックスハンディを取得する為に5枚のスコアを提出する事が可能かどうか？</p> <p style="padding-left: 2em;">周知徹底し、プレーご来場の際は必ずスコアを出して頂くようにする。</p> <p>○クラブハンディの場合の不都合な点は？</p> <p style="padding-left: 2em;">倶楽部競技での、使用ティにおける公平なハンディキャップ競技とならない</p>	

対外試合に出る場合必要がある。(アンダーハンディ競技参加の場合)

○対外試合に出場される選手がいるのか？

数名出場される方がいらっしゃる

○ハンディキャップを併用する形でどうか？

必要な方が取得して頂く形でも規約を作成する事が出来る。

以上の意見、話し合いが行われ採決を取った結果、クラブハンディキャップを継続し、インデックスハンディは取得希望者において取得して頂く事と決議された。

議事3、今後の運営について

●運用内規について

修正箇所等あれば、その都度意見を頂戴し修正をしていく事

○通則にある、他クラブのハンディキャップの受入れはどうするか？

倶楽部競技参加を希望され、入会される方も見える。入会されたら倶楽部競技に参加したいと言われる方はいらっしゃる。

JGA 加盟倶楽部が発行しているハンディキャップを共通する事が出来る事とする。

○インデックスハンディを証明書として提出された場合

鷲ヶ岳高原ゴルフ倶楽部バックティのスロープレーティングに合わせて算出しハンディキャップと認める。

○ダウン査定について

内規の通り本人の申請があった場合にのみ査定を行う。

ダウン査定を受け付ける旨をハンディキャップ委員会として作成掲示する。

○ハンディキャップ査定について

スコアカード提出により、ディファレンシャルをハンディキャップ参考とし査定する。

2ヶ月毎にハンディキャップ委員会を開催し、査定する事とする。

○倶楽部競技優勝者等のハンディキャップ査定については、2ヶ月毎とするか？

優勝された方のディファレンシャルを精査し、基準が下がってればハンディキャップを下げる事がよいのではないか。

Bクラスは特に大きなアンダーで優勝する方が見える為、その都度検討した方が良い。

ハンディキャップ10以下を委員会査定とし、それ以上は事務局査定ではどうか。

Aクラスのハンディキャップは委員会にて査定承認する事としBクラスについては、大きなアンダーが出る場合もある為、事務局で査定承認し後日、ハンディキャップ委員会に報告する形とする事で承認された。

議事 4、その他

○ハンディキャップ査定

○田中 章君

倶楽部競技の成績において、資料の通りの成績をおさめており、過去1年のディファレンシャルの値もハンディキャップ1.0と出ているため、現在のハンディキャップ4から3へと引き上げる事が承認された。

○鷺見 勇晴君

現在のハンディキャップ1.0であるが、研修競技等アンダーの成績を出されております。今年のクラブ対抗競技においては、上位の成績をおさめられており、シングルハンディとする事を検討する。

- ・今回、クラブ対抗競技の成績を資料として用意していなかった為、次回のハンディキャップ委員会にて資料提出し査定する事とする。

上記の通り、決定した事をハンディキャップ委員会内規に記載し作成する事とする。

委員長挨拶の後、競技成績発表を行い、委員会を終了した。

次回のハンディキャップ委員会は、10月合同理事委員会にて行う事とした。

--	--	--	--	--	--	--	--